



- この説明書は、必ず組立てされる方へお渡してください。
- 二次元バーコードにアクセスいただくと、組立て動画をご覧ください。
組立て動画は、参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



■組立てされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

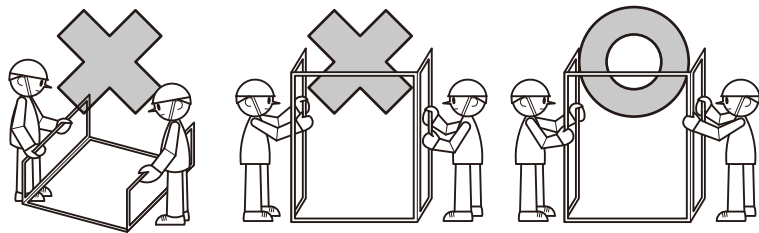
- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・連窓方立と角度枠に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・浴室には使用しないでください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
 - ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。
移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立・角度枠取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立てた後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- 移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。



■部品一覧表

連窓用裏板	連窓方立用収縮かくしピース	角度枠用収縮かくしピース
連窓方立用上・下キャップ	角度枠用上・下キャップ	防水補助シール

※キャップは上用・下用がありますので、ご注意ください。（組立て詳細図参照）

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

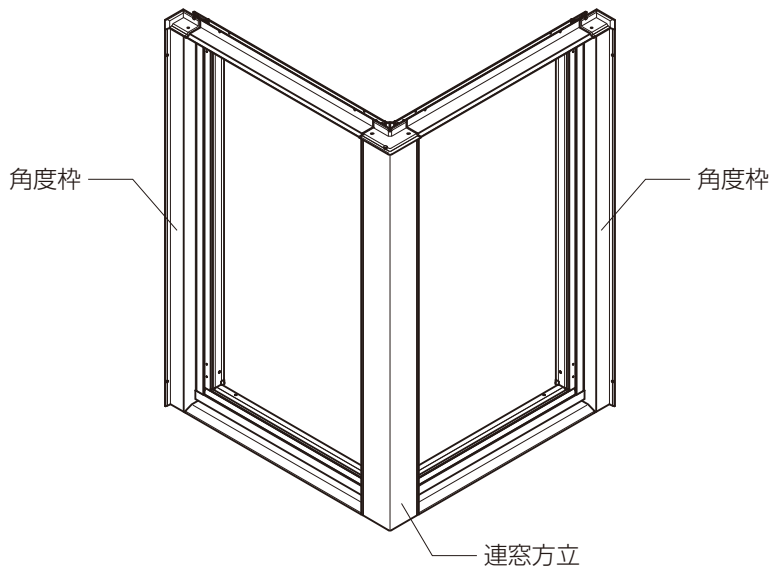
①	②	③
ねべドリルねじ φ4×8	皿タッピンねじ φ4×12	バインドタッピンねじ φ4×20

■連窓方立・角度枠の種類

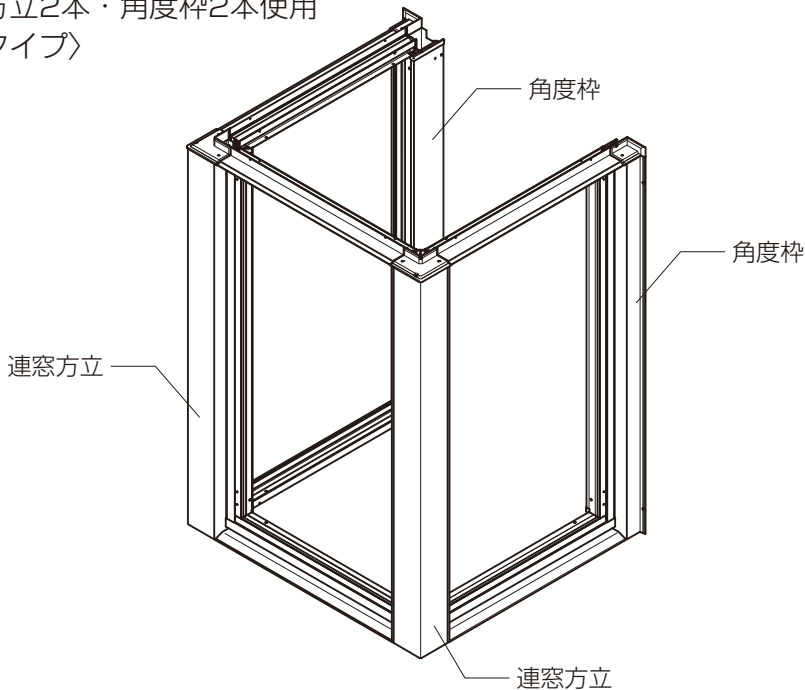
連窓方立	角度枠

■連窓方立・角度枠の使用例

●連窓方立1本・角度枠2本使用
〈L型タイプ〉



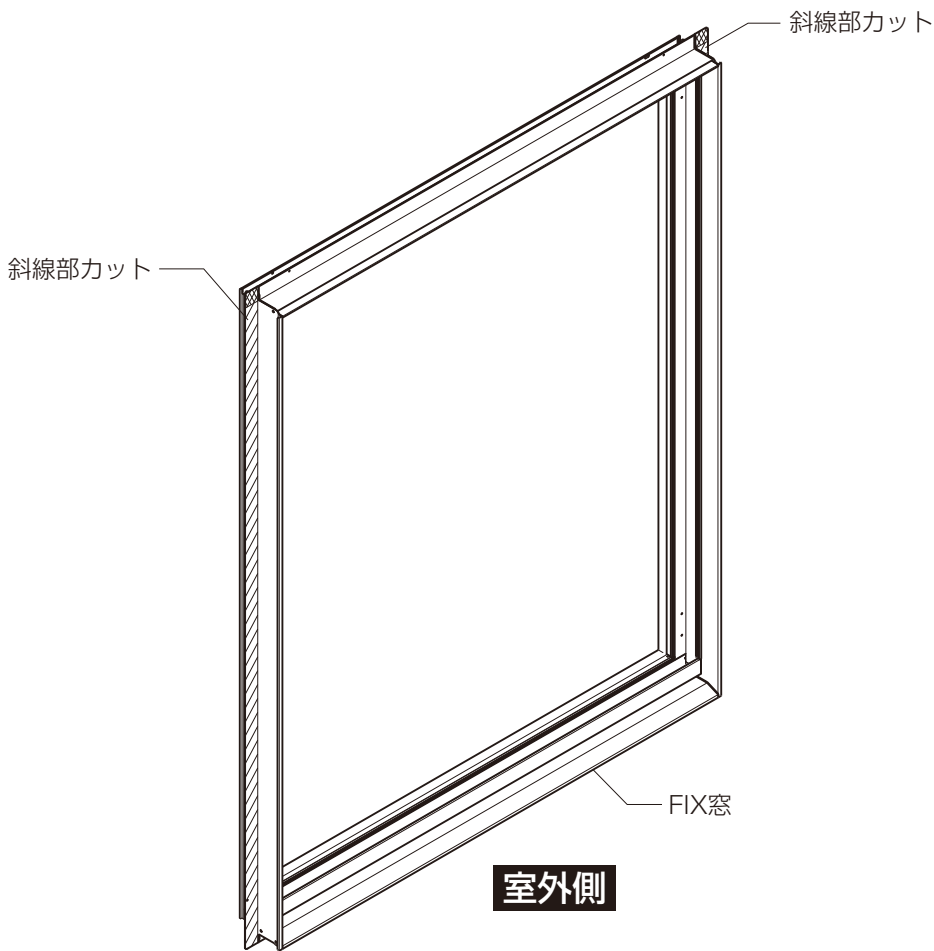
●連窓方立2本・角度枠2本使用
〈コ型タイプ〉



■組立て順序

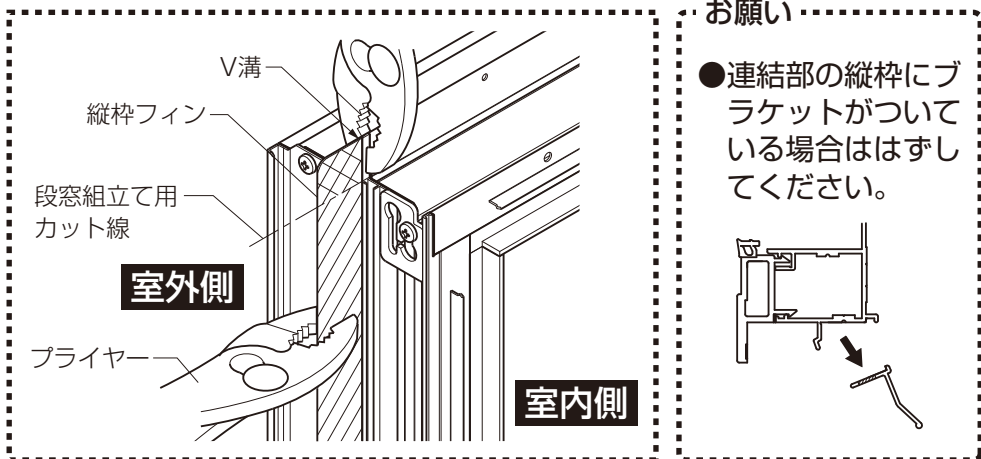
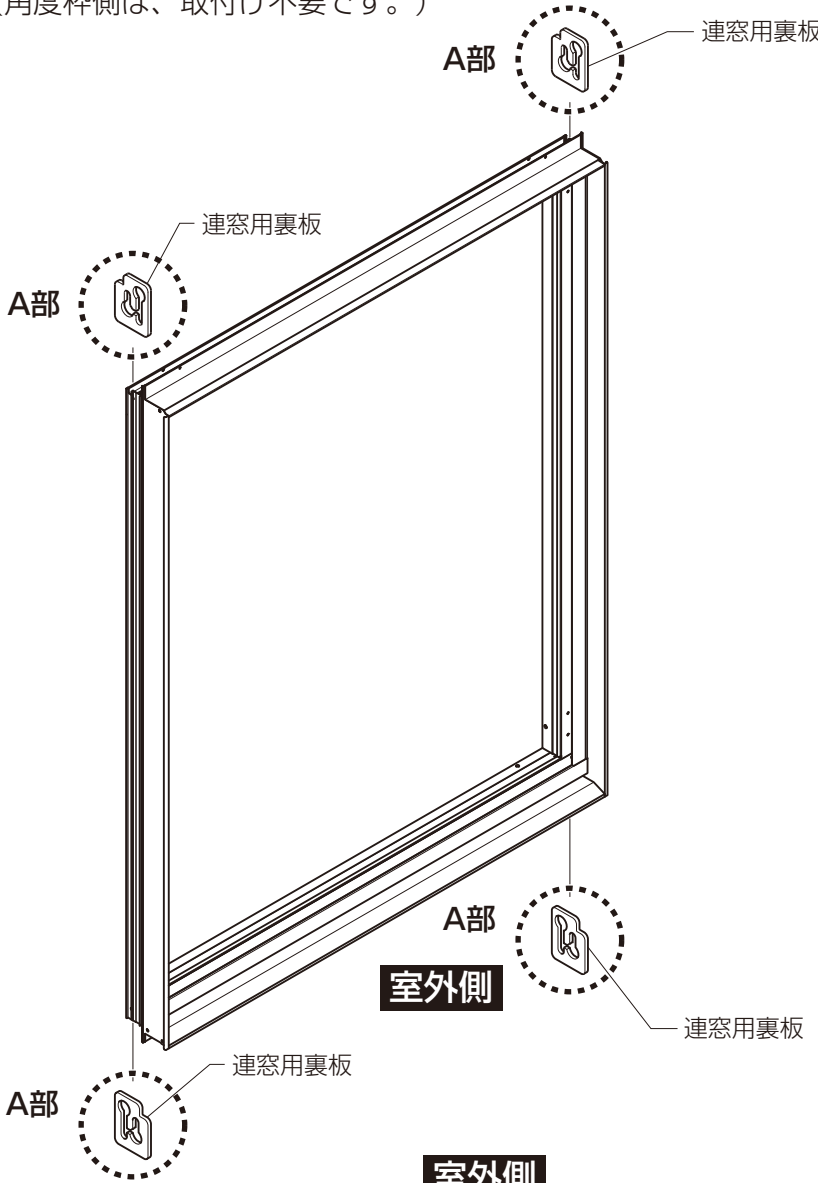
1 縦枠フィンのカット

- ①連結する側の縦枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
 - ②プライヤーなどでまず  部を、次に  部を折曲げながら取り去ります。
- ※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。



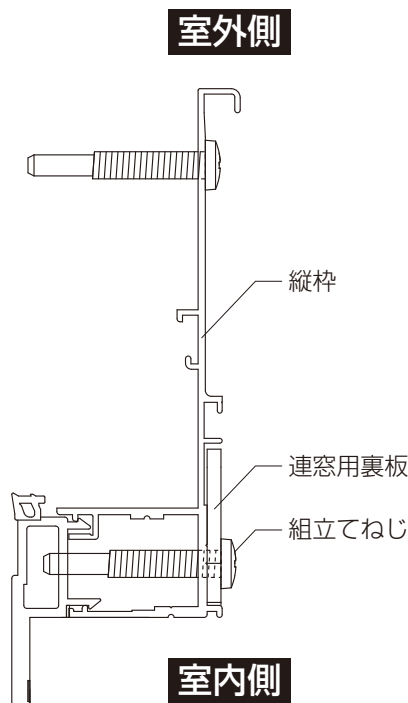
2 連窓用裏板の取付け

- 連窓方立と連結する前に縦枠に取付けてください。
- 連窓方立と連結する縦枠のみ取付けてください。（上・下2カ所）
（角度枠側は、取付け不要です。）



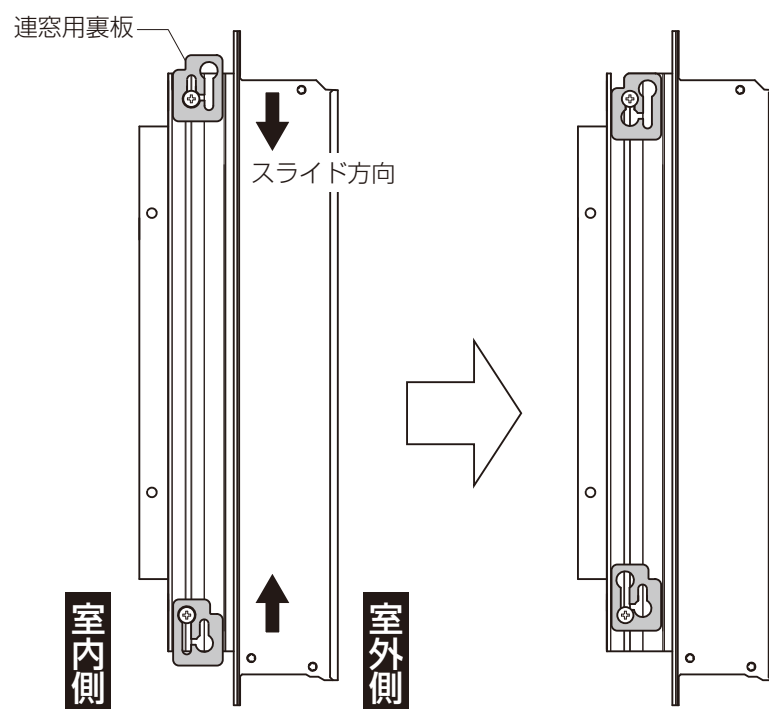
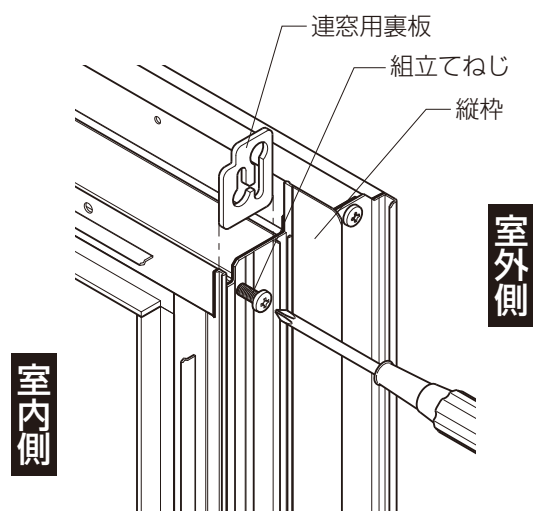
▲ 注 意

- 縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
- また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
- 漏水の原因になります。



■A部詳細図

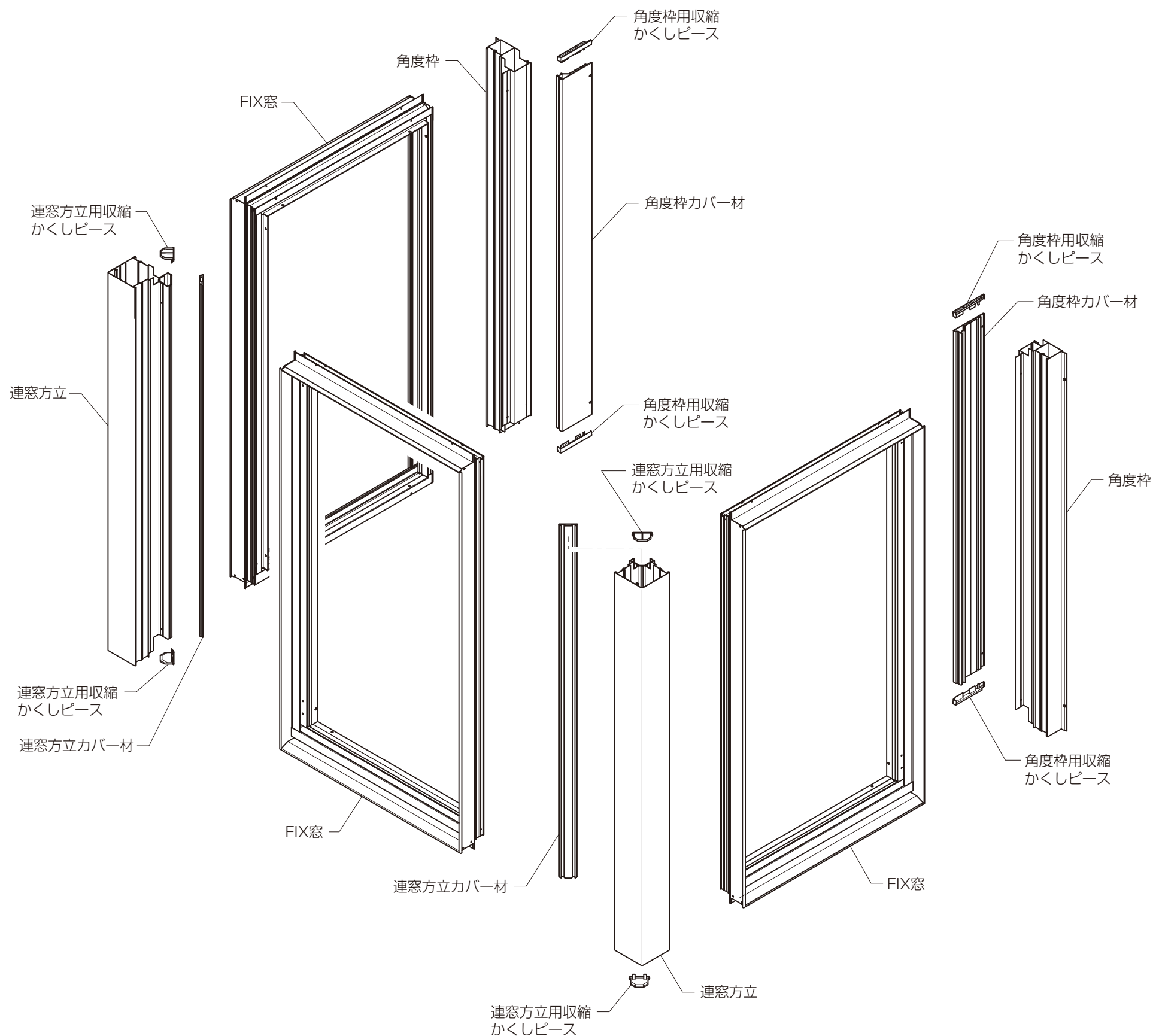
- ① 枠組立て用ねじをゆるめて連結用裏板を図のようにはめ込みます。
- ② 矢印の方向に連窓用裏板をいっぱいにはめ込んで、ねじを本締めしてください。
(連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。)

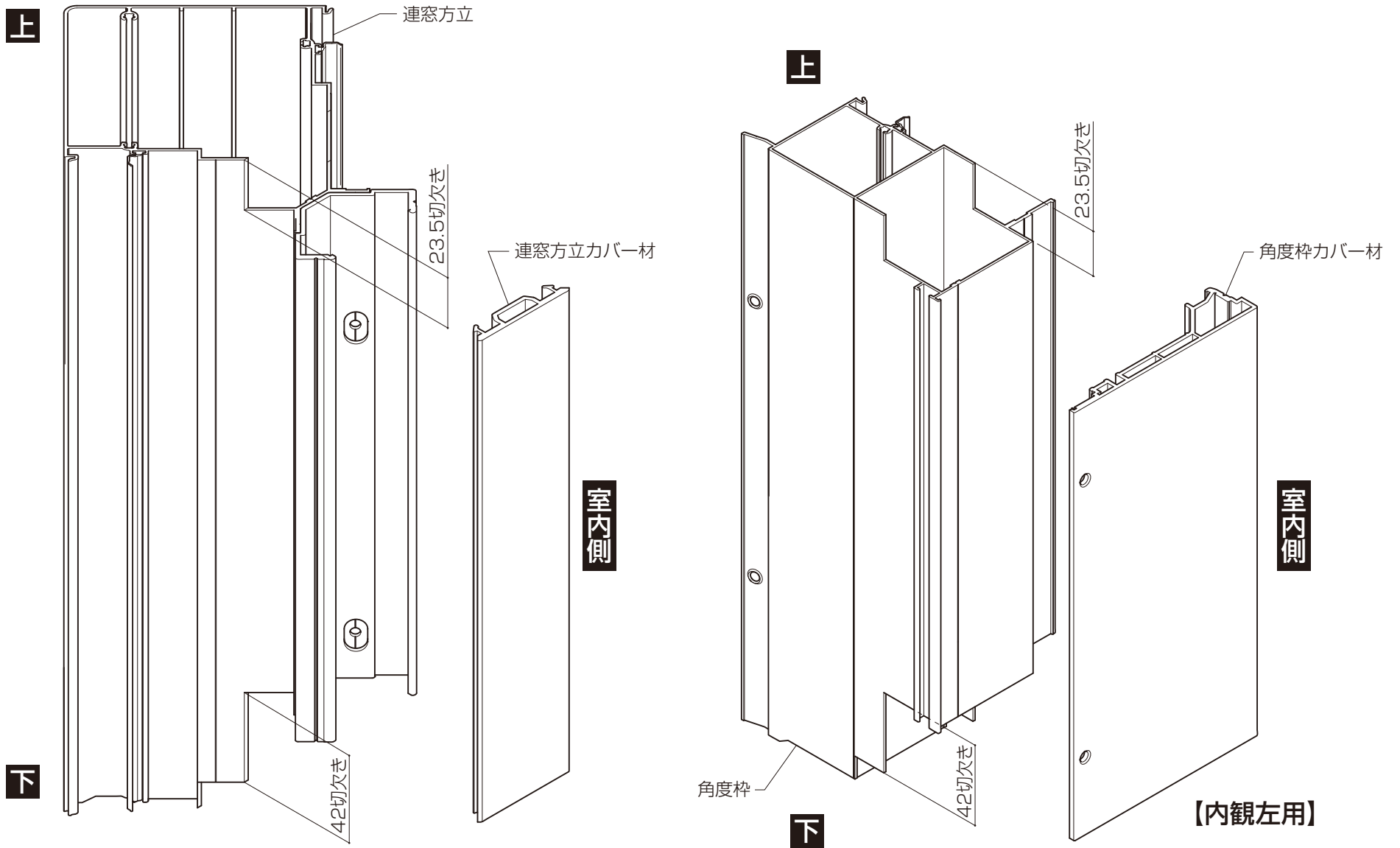


■3部材の上下左右確認

※連結前に連窓方立と角度枠を確認してください。

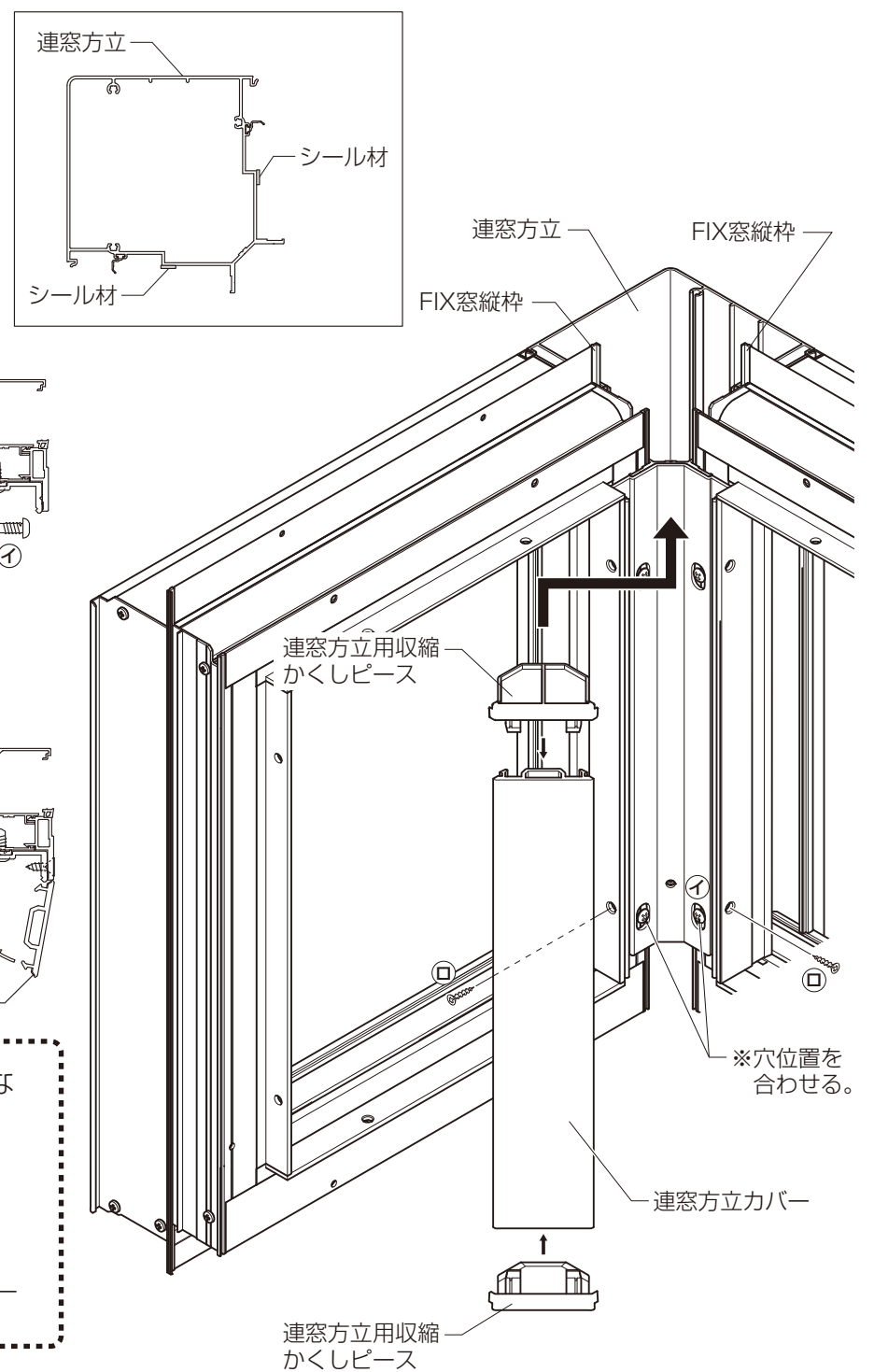
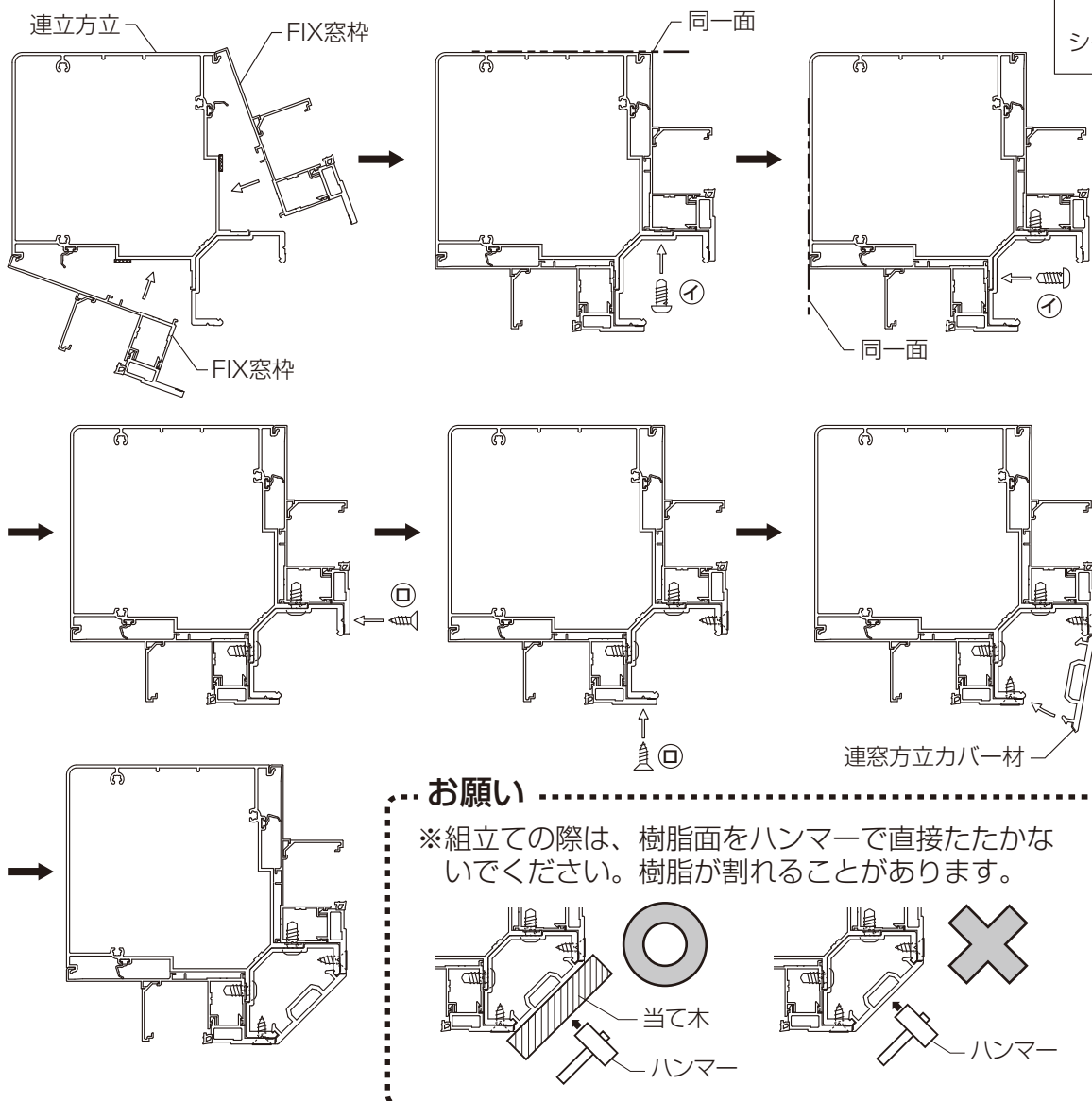
●角度枠には、上・下、左右があります。組立て前によく確認してください。





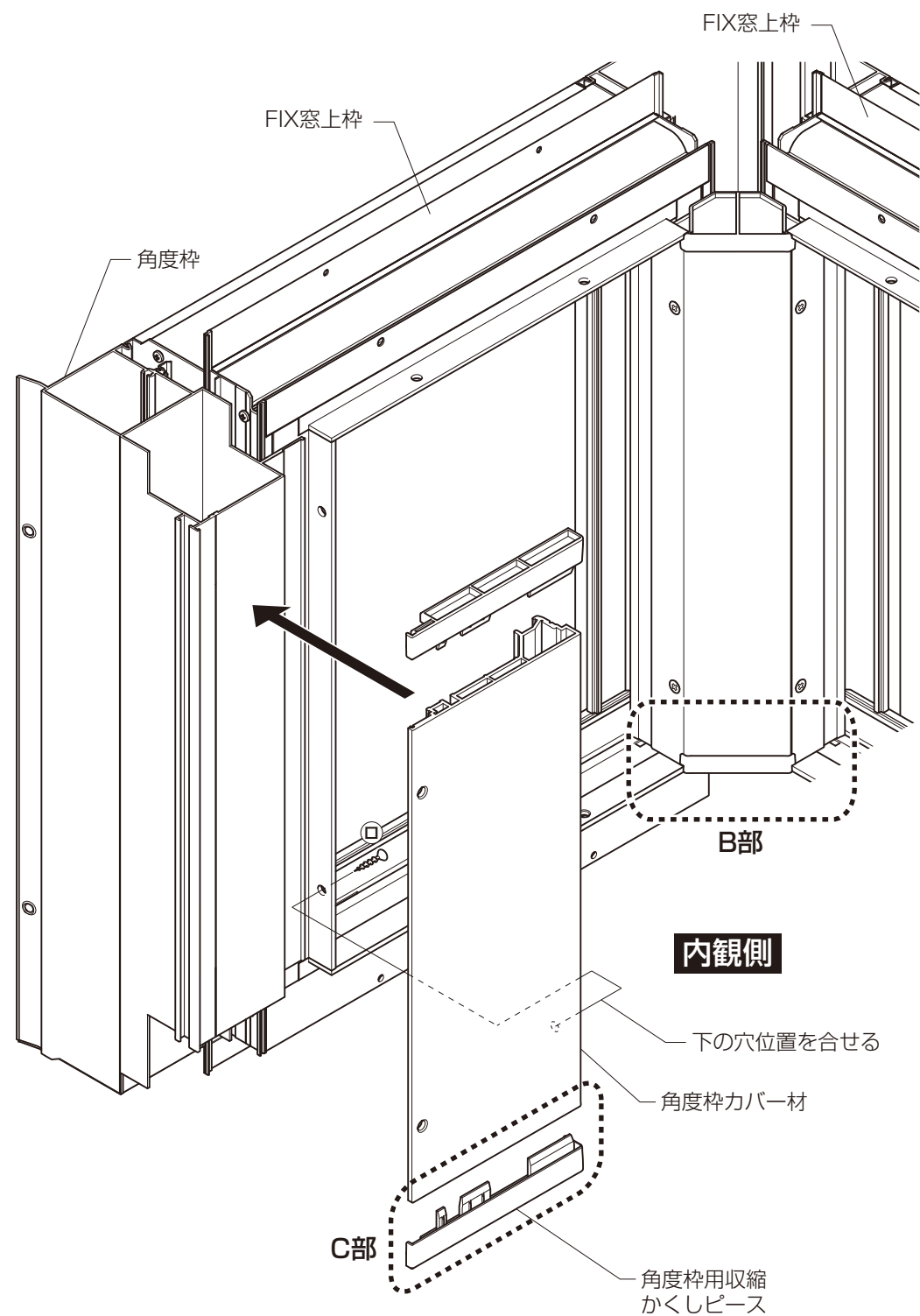
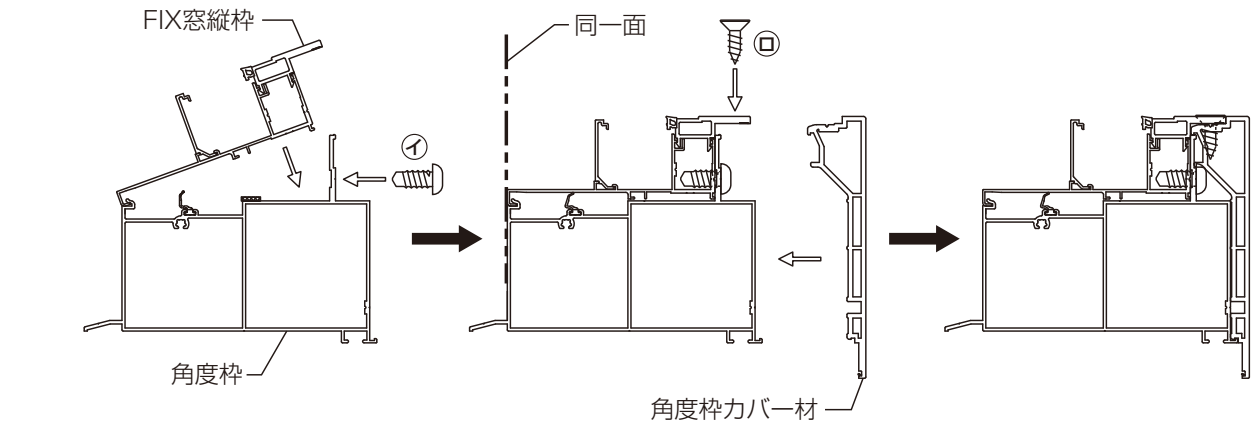
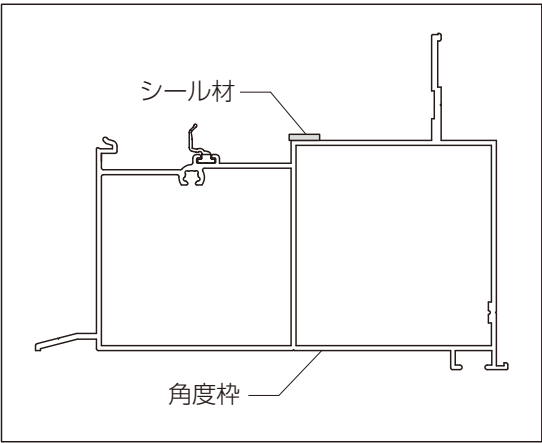
4 連窓方立の連結と連窓方立カバーの取付け

- ①FIX窓縦枠のプッシュボタンを取ってから、はめ合わせをします。
- ②連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙を、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
- ③連窓方立をFIX窓枠にはめ込みます。
- ④FIX窓枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら、穴をすべて④でねじ止めします。
※連窓方立とサッシ縦枠の室外側が同一面になっていることを確認してください。
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
- ⑤FIX窓枠のアングル部の穴をすべて⑤でねじ止めします。
- ⑥連窓方立用収縮かくしピースを連窓方立カバー材の上・下に差込み、連窓方立用収縮かくしピースと連窓方立カバー材にすき間があかないようにして、連窓方立カバー材を連窓方立にはめ込みます。



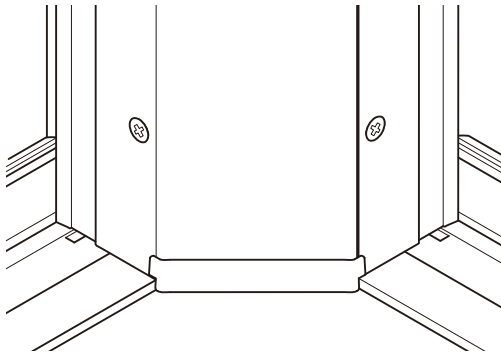
5 角度枠の連結と角度枠カバー材の取付け

- ①FIX窓縦枠のプッシュボタンを取ってから、はめ合わせをします。
- ②角度枠をFIX窓枠にはめ込みます。
※角度枠に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
- ③FIX窓枠を角度枠にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら、穴をすべて④でねじ止めします。
※角度枠とサッシ縦枠の室外側が同一面になっていることを確認してください。
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
- ④角度枠用収縮かくしピースを角度枠カバー材の上・下に差込みます。
- ⑤カバー材を角度枠に差込み、下端の穴位置を合わせながら穴をすべて⑥でねじ止めします。
※下端のみ角度枠カバー材に下穴があいています。
それ以外の穴は角度枠カバー材の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
下端の下穴が合わない品種が、一部あります。
その場合は、角度枠カバーを上下均等に配置し、ねじ止めしてください。



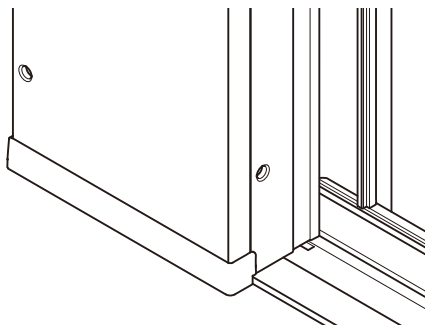
■B部詳細図

※連窓方立用収縮かくしピース取付け状態図

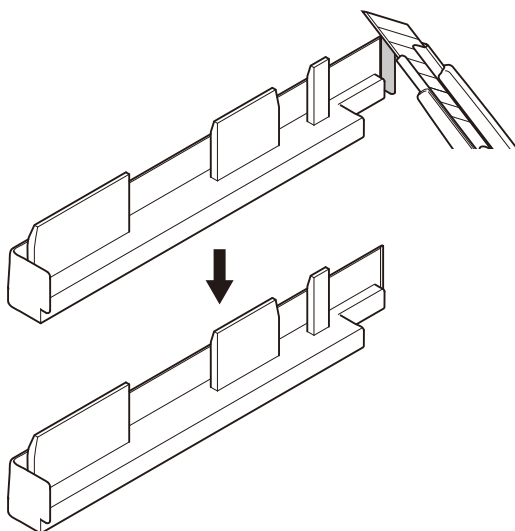


■C部詳細図

※角度枠用収縮かくしピース取付け状態図



※納まりに応じて■部をカッターなどででいねいに切ってください。納まりによっては、ピッタリ合わないことがあります。その場合は、ヤスリなどで調整してください。



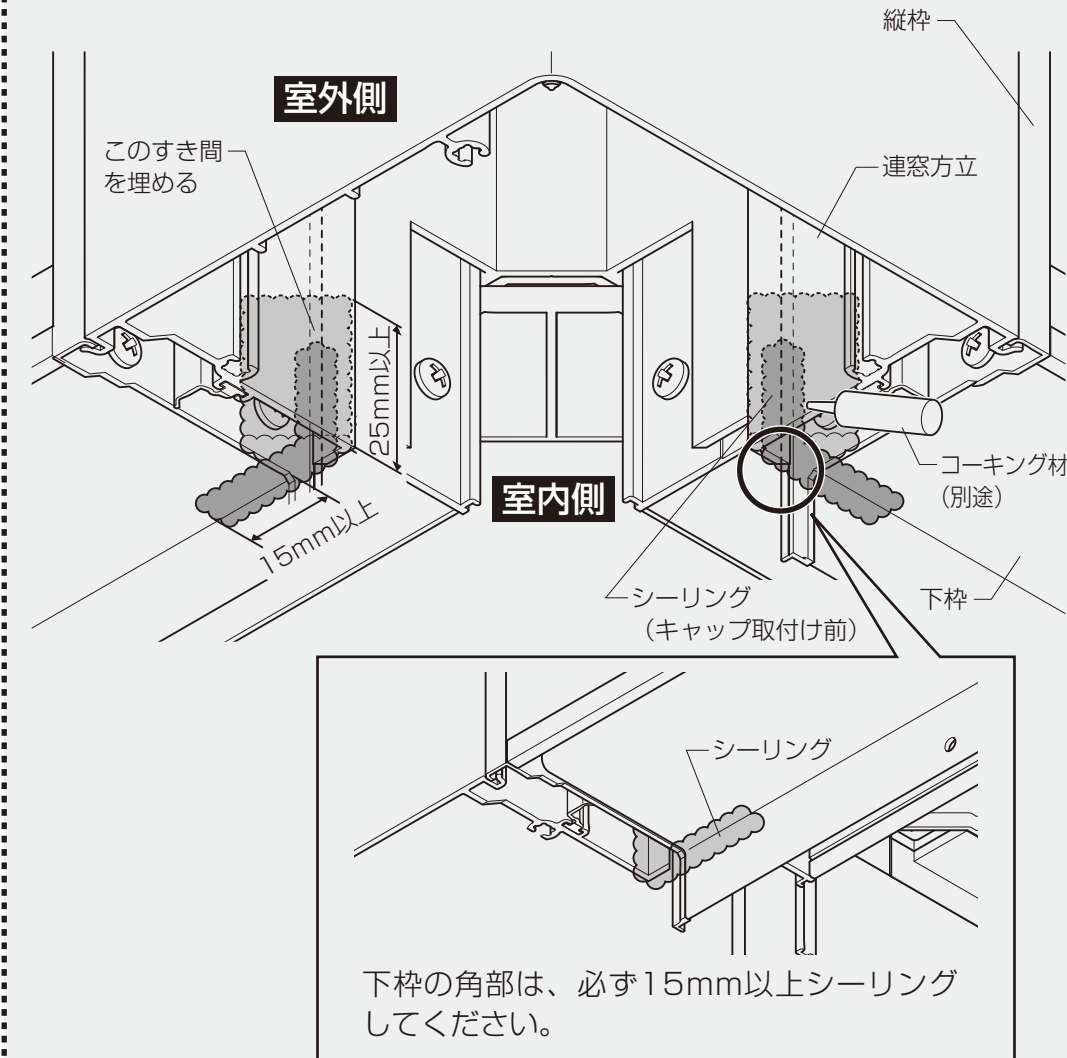
6 シーリング処理（下部室外側）

●連窓方立または角度枠と下枠、縦枠の突き合わせ部をシーリング処理してください。

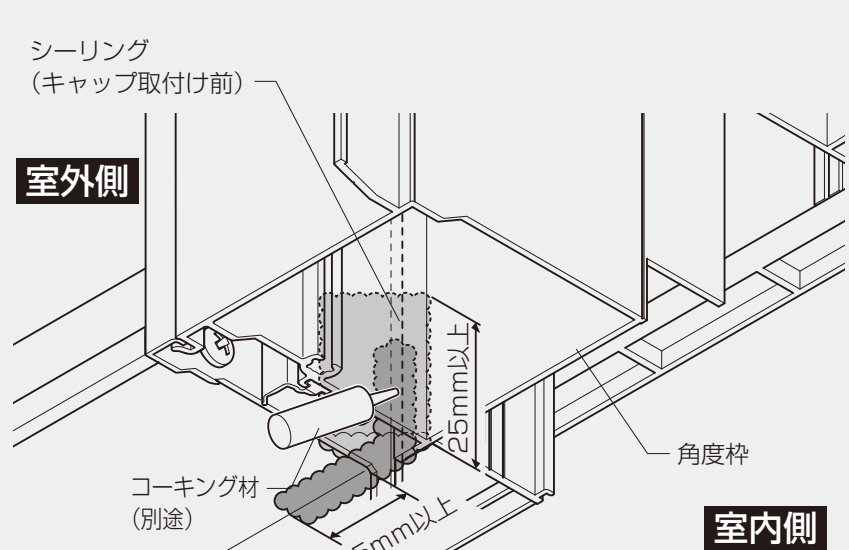
▲ 注 意

●下キャップの、止水性を確保するため指定箇所( 部)にコーキング材（別途）を充てんしてください。
漏水の原因になります。

【連窓方立用キャップ取付け前（外観図）】



【角度枠用キャップ取付け前（外観右図）】

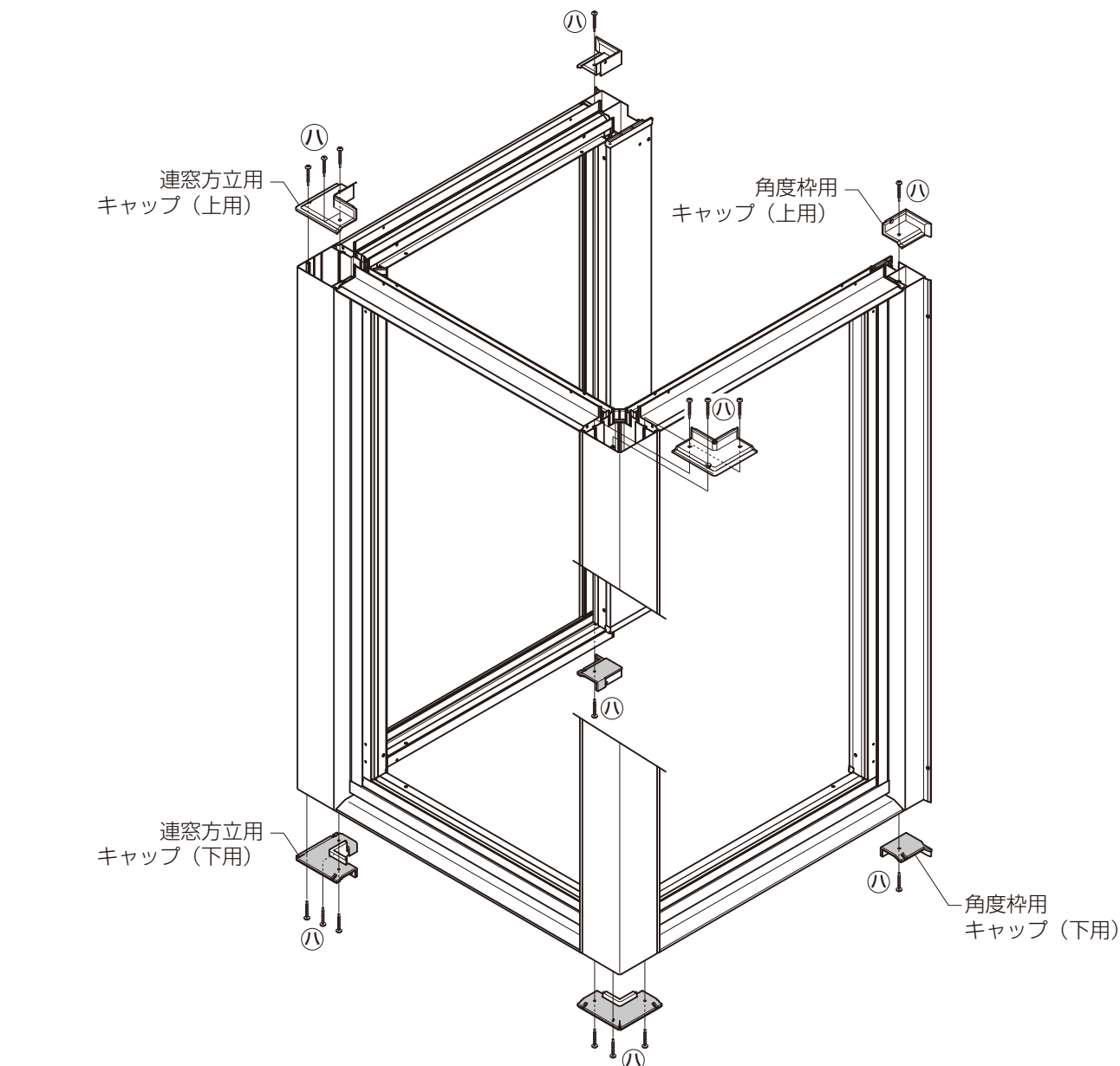


..... コーキング材について

シリコン系コーキング材は使用しないでください。
ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

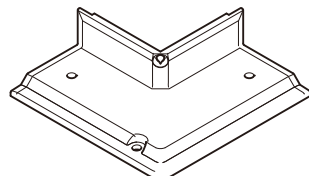
7 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップを取付けます。
※キャップには上用・下用がありますので、確認してください。

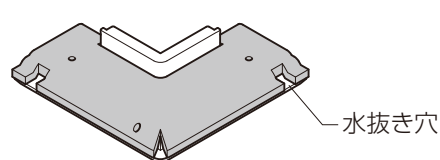


■連窓方立用キャップ

(上用)



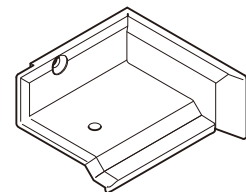
(下用)



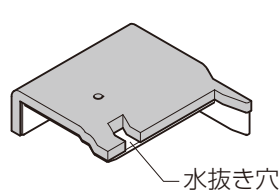
■角度枠用キャップ

※図は内観左用を示します。

(上用)

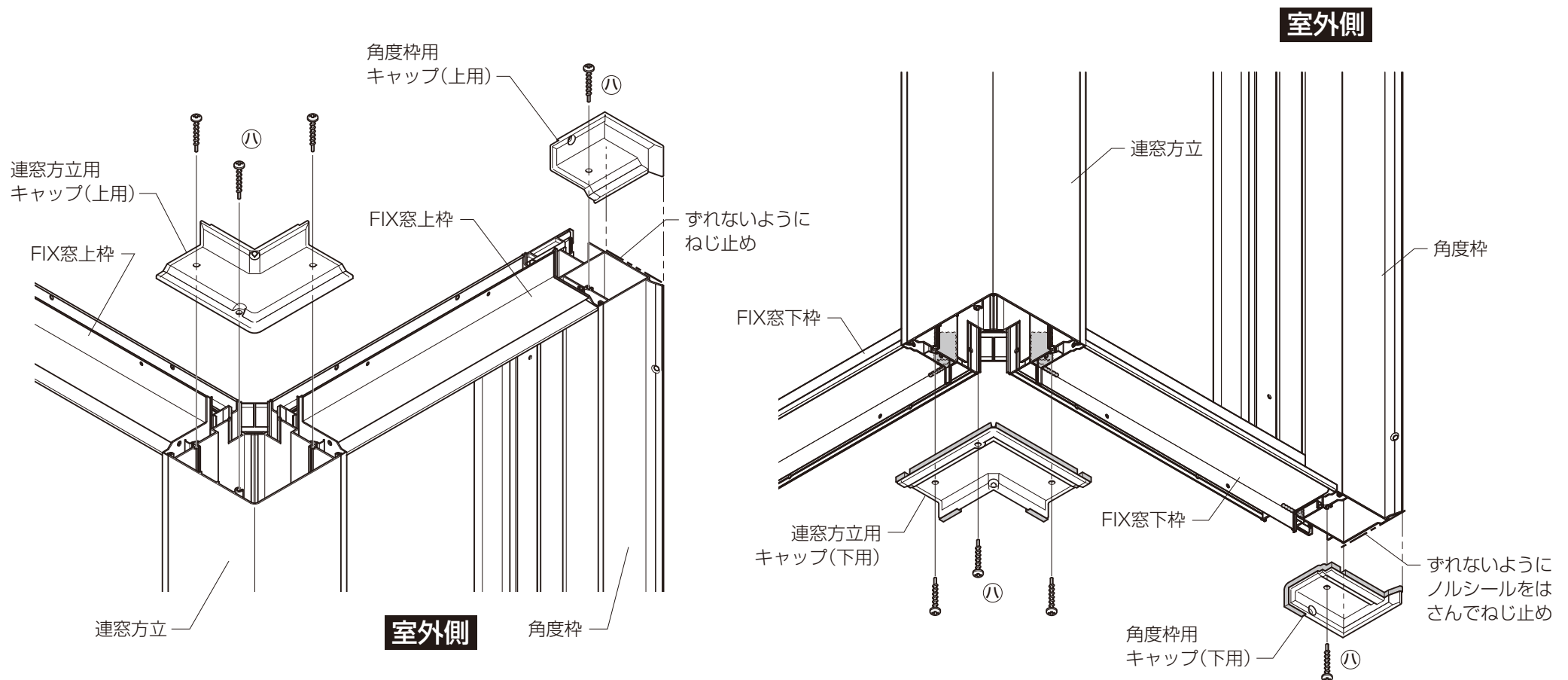


(下用)



●上キャップ取付けの場合

●下キャップ取付けの場合



8 シーリング処理（下部室内側）

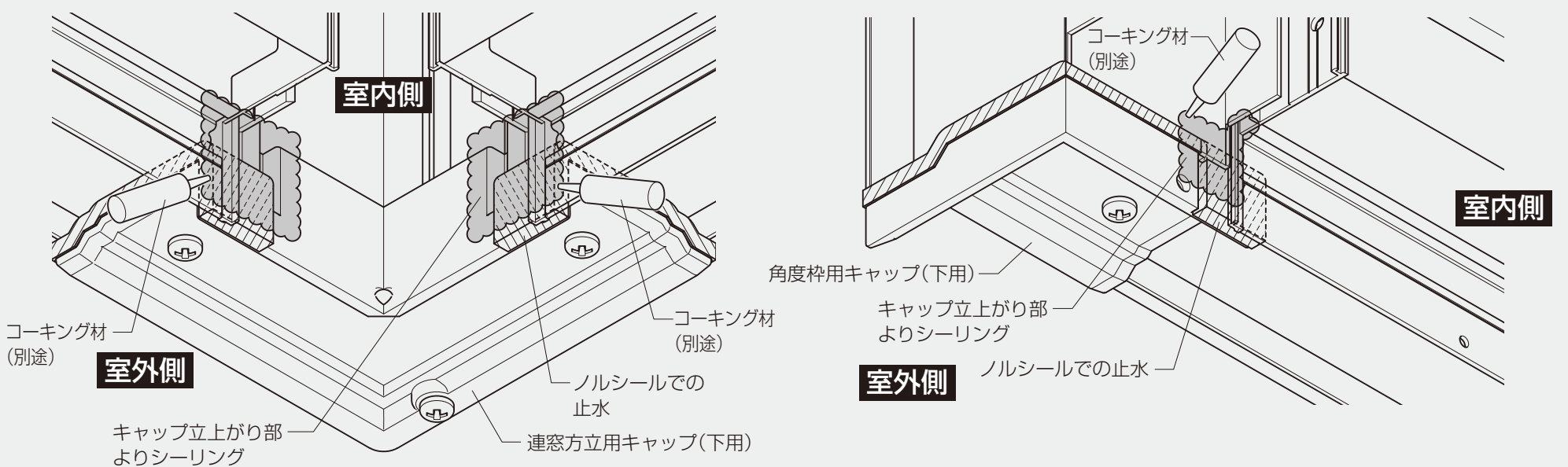
●下キャップと下枠、連窓方立または角度枠の突き合わせ部をシーリング処理してください。

▲ 注 意

●下キャップは、止水性を確保するため、コーキング材（別途）を充てんしてください。
漏水の原因になります。

【連窓方立用キャップ取付け後（内観図）】

【角度枠用キャップ取付け後（内観左図）】



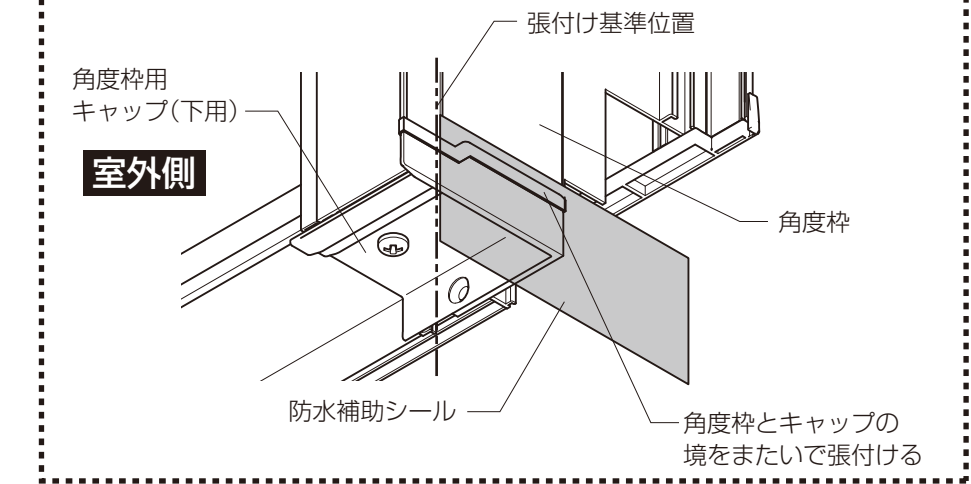
9 防水補助シールの張付け

- フィンの裏面より防水補助シールを張付けます。

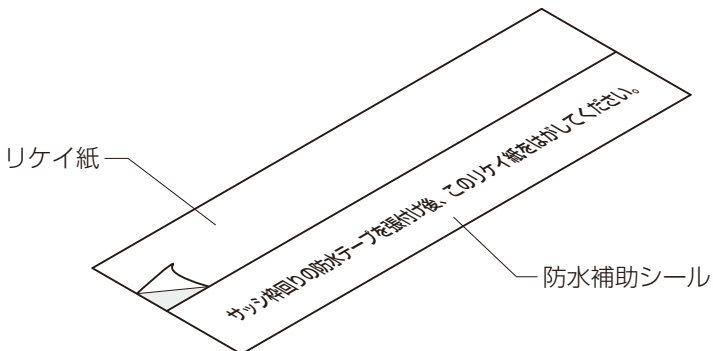
▲ 注 意

- 上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。漏水の原因になります。

■角度枠キャップ(下用)の防水補助シール張付け位置



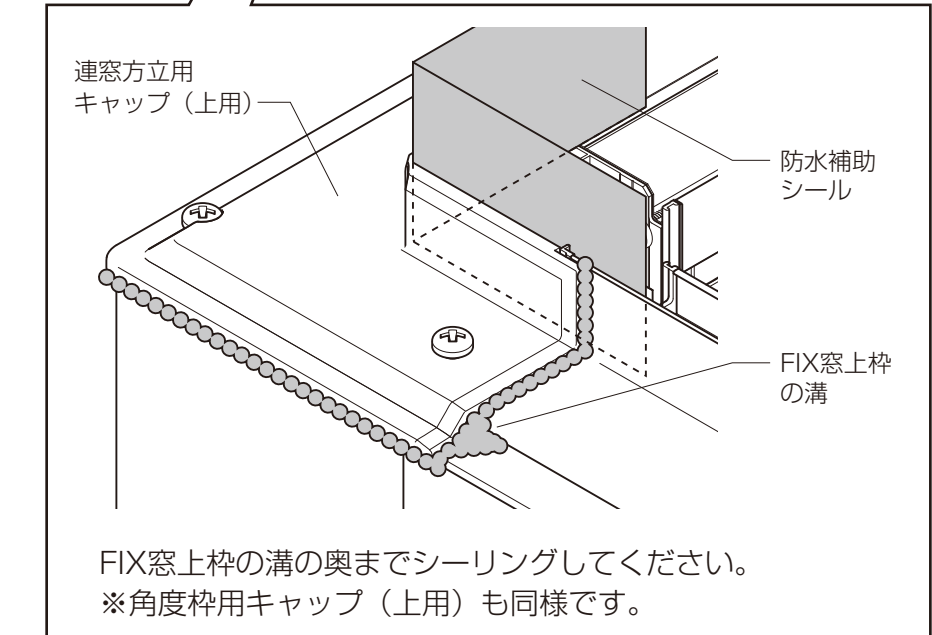
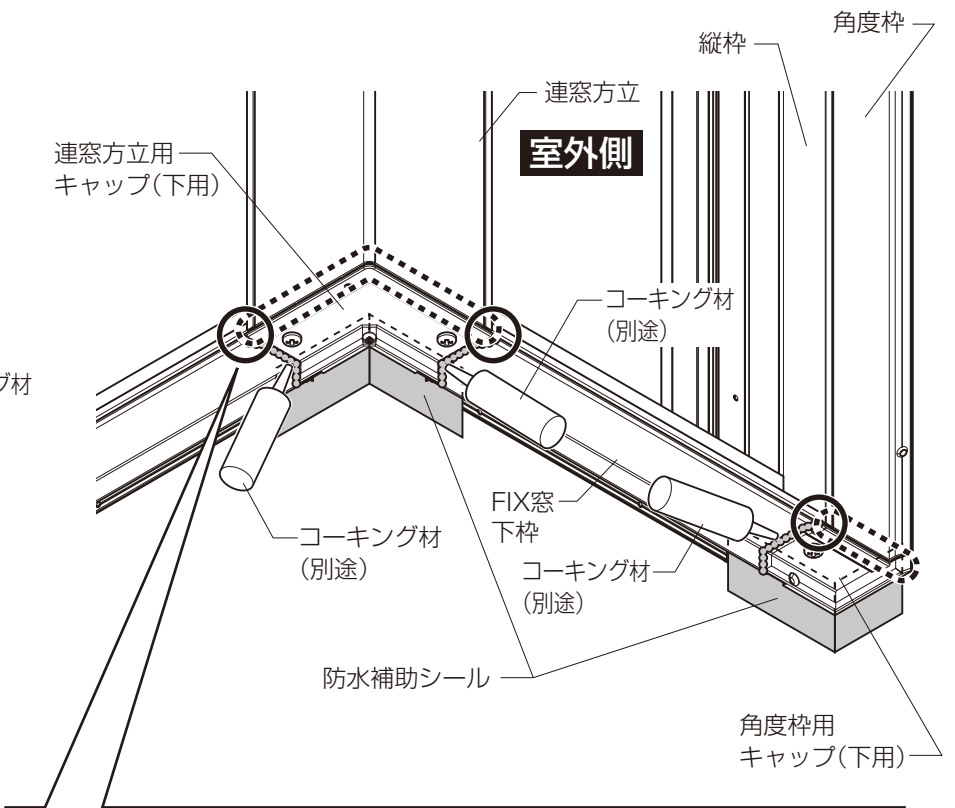
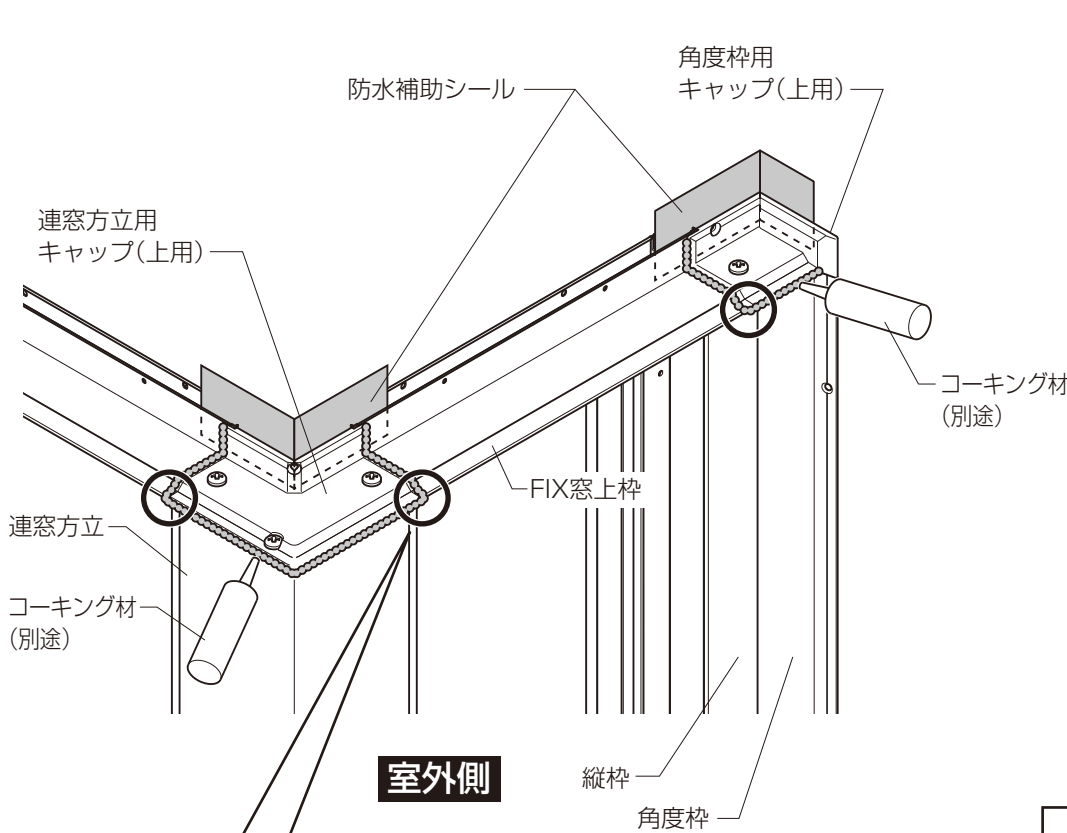
- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
※必ず文字の書いていない方をはがしてください。
角度枠下キャップの場合、角度枠の段差部を基準に防水補助シールを張付けてください。



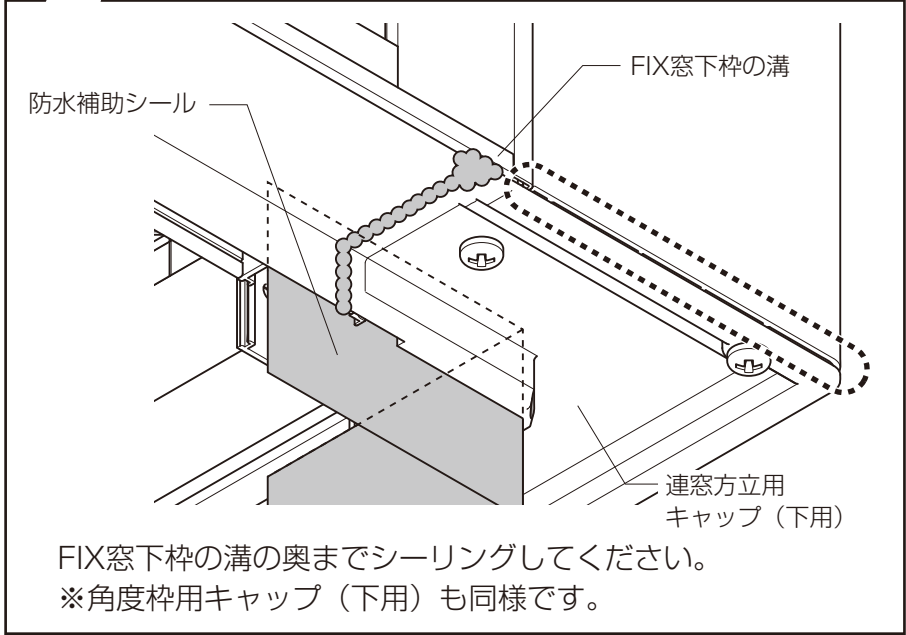
10 シーリング処理 (上・下キャップまわり)

▲ 注 意

- 上・下キャップ取付け後、止水性を確保するため指定箇所( 部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。漏水の原因になります。



FIX窓上枠の溝の奥までシーリングしてください。
※角度枠用キャップ(上用)も同様です。



FIX窓下枠の溝の奥までシーリングしてください。
※角度枠用キャップ(下用)も同様です。

▲ 注 意

- 排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングしないでください。(上図  部)漏水の原因になります。